

原発事故の幕引きを許してはならない

—東電の虜となった安全委・保安院—

ゼミで学生と『国会事故調』を読む

東日本国際大学経済情報学部教授

大槻 雅彦

ゼミで学生と『国会事故調(要約版)』を読んでいる。

報告書の冒頭は、黒川委員長の「福島原子力発電所事故は終わっていない。」という、一見さりげない、普通の言葉で始まっている。しかし、これは表現を変えて呪文のように繰り返され、全編を貫く重い旋律として、ときには高い警鐘として耳と胸に響く。報告書を断じて事件の幕引きに使わせてはならないという委員会の固い決意の表明であり、東電などによる事故調査報告書の類に対する問責と嘲弄(ちょうろう)なのである。

報告書は、事故の根源的な原因を、規制に服すべき東電が原発規制当局(安全委員会と保安院)を意のままに操るという逆転関係とし(5、10、12、18、41～43。数字は報告書「要約版」のページ、以下同じ。)、事故は、住民の安全よりも東電の収益＝原発稼働を優先し、過酷事故対策を意図的に回避し先延ばしした結果の「人災」であり(6、10、12、17、18、27)、適切な対策がとられたなら防ぎ得たことを検証している(26～28)。そして、事故が起こるや、東電経営陣・本店は一転して官邸の顔色を窺って、官邸の意向を現場の技術者の意向よりも優先し、現場への技術的な支援を疎かにした(15、18)と指摘する。

一方で、委員会は、被災12市町村の訪問、1万を超えるアンケートを通じて、終わりが見

いだせない被災住民の生活と健康への不安を間近に見つめている(16、17、20、21)。幕引きに加担することは、被災住民を見捨て、人災の加害者を放免することである。冒頭の一文は、幕引きを画策する者に対する牽制と糾弾である。

本学はフクイチに世界で最も近い大学であり、3.11 は春休みだったとはいえ、クラブ活動中の学生や帰国していない留学生などが、地震で被災し、放射能汚染から避難した。ゼミにも、韓国と中国からの留学生がいて、彼らは大学の斡旋により 3.11 後まず国内で関東圏に避難して一旦は帰国、5月の連休後、大学の再開に合わせて再来日した。彼らの存在と視点は、報告書に対する見方を複眼的にしてくれる。

国政調査権について、中国には同様のものがあるのか、そもそも三権分立は？という問いが生じる。また、韓国メディアは、時々針小棒大に走る傾向があり、3.11 後の余震をかなり大げさに報じていたようだ。報告書の文章は平易であり、日本語を覚えてたの学生もいるゼミの素材としては好適である。

しかし、ナゾの言葉もある。報告書を通じて事業者と規制当局の逆転関係を解明するキーワードの Regulatory Capture(規制の虜、規制当局が事業者に支配されること。5、12)については、Stigler※の 1971 年論文“The Theory of Economic Regulation”とそれに続く研究をフォローしてみたいが、国会事故調を足がかりにもう少し進んだクラスで原書講読するのがよいだろう。

「B.5.b」(11、51)もナゾめいている。9.11 後、テロの標的となりうる原発施設に対して、米国原子力委員会が 2002 年 2 月 25 日に暫定措置命令を発した。その命令書の B.5.b という項目に総合対応計画(火災及び爆発に対する緩和措置手段・方策)が規定され、全電源喪失を想定した機材の備えと訓練を義務づけている。その詳細は安全保障上の理由から非公開だが、保安院には届けられていた。そして、握りつぶされたに等しい。報告書は、「防衛にかかわる機微情報に配慮しつつ、必要な部分を電気事業者に伝え、対策を要求していれば、

今回の事故は防げた可能性がある。」と記している(11)。

地域が被った同時代の災禍について、国権の最高機関たる国会が、わが国憲政史上初めて国政調査権の行使を視野に入れて委員会に調査を託し、可能な限り公正かつ綿密に作成された報告書は、本学・当ゼミにとって贅沢すぎる教材である。しかし、肝心なのは、国会が報告書の提言をどう活かすかだ。残念ながら、議員先生諸氏は、総選挙という自分の就活を巡って、学生の就活よりもはるかに熱気を帯びて離合集散に奔走し、報告書の提言には音沙汰がない。

しかし、民主主義の下で議会の嗤(わら)うことは、投票、棄権にかかわらず、自らもその一部である民意を嘲(あざけ)るに等しい。三日後に迫った総選挙で、提言を着実に進める国会が生まれることを期待する。

※George J. Stigler、1911～1991、シカゴ大学教授、1982年ノーベル経済学賞を受賞、授賞理由は、産業構造や市場の役割・規制の原因と影響についての独創的な研究を称えて。

『国会事故調(要約版)』の PDF ファイルは「[naic_youyaku.pdf](#)」で検索。